

EUROPOWER

PMP6000

1600-Watt 20-Channel Powered Mixer with Dual Multi-FX Processor and FBQ Feedback Detection System

PMP4000

1600-Watt 16-Channel Powered Mixer with Multi-FX Processor and FBQ Feedback Detection System

PMP1000

500-Watt 12-Channel Powered Mixer with Multi-FX Processor and FBQ Feedback Detection System

JP

JP 安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (1/4" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使用してください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。

9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのものです。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手元に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したものの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いたしません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

18. ブックケースなどのような、閉じたスペースには設置しないでください。

19. 本機の上に点火した蝋燭などの裸火を置かないでください。

20. 電池廃棄の際には、環境へのご配慮をお願いします。電池は、かならず電池回収場所に廃棄してください。

21. 本装置は 45℃ 以下の温帯気候でご使用ください。

法的放棄

ここに含まれる記述、写真、意見の全体または一部に依拠して、いかなる人が損害を生じさせた場合にも、Music Tribe は一切の賠償責任を負いません。技術仕様、外観およびその他の情報は予告なく変更になる場合があります。商標はすべて、それぞれの所有者に帰属します。Midas、Klark Teknik、Lab Gruppen、Lake、Tannoy、Turbosound、TC Electronic、TC Helicon、Behringer、Bugera、Oberheim、Auratone および Coolaudio は Music Tribe Global Brands Ltd. の商標または登録商標です。© Music Tribe Global Brands Ltd. 2021 無断転用禁止。

限定保証

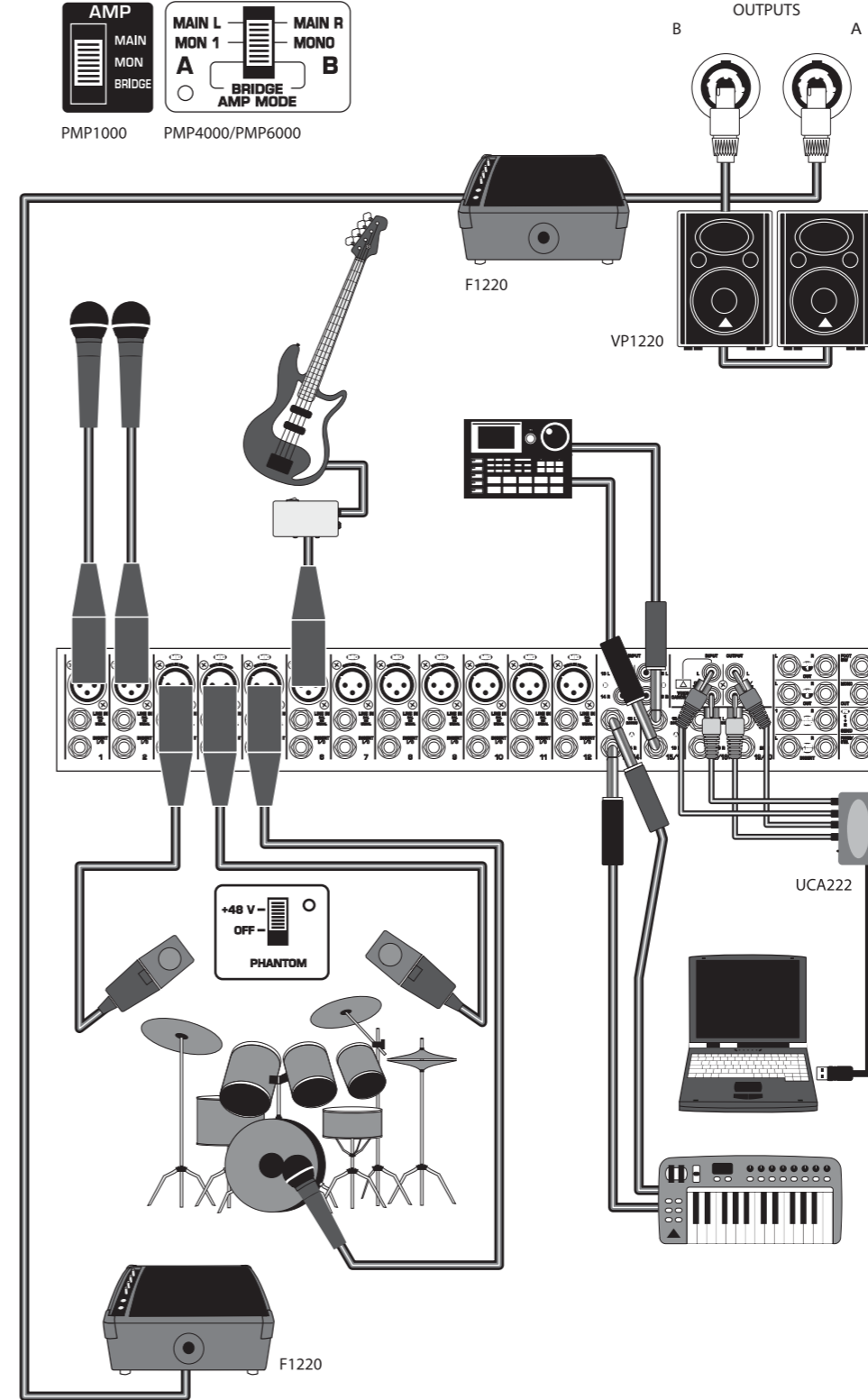
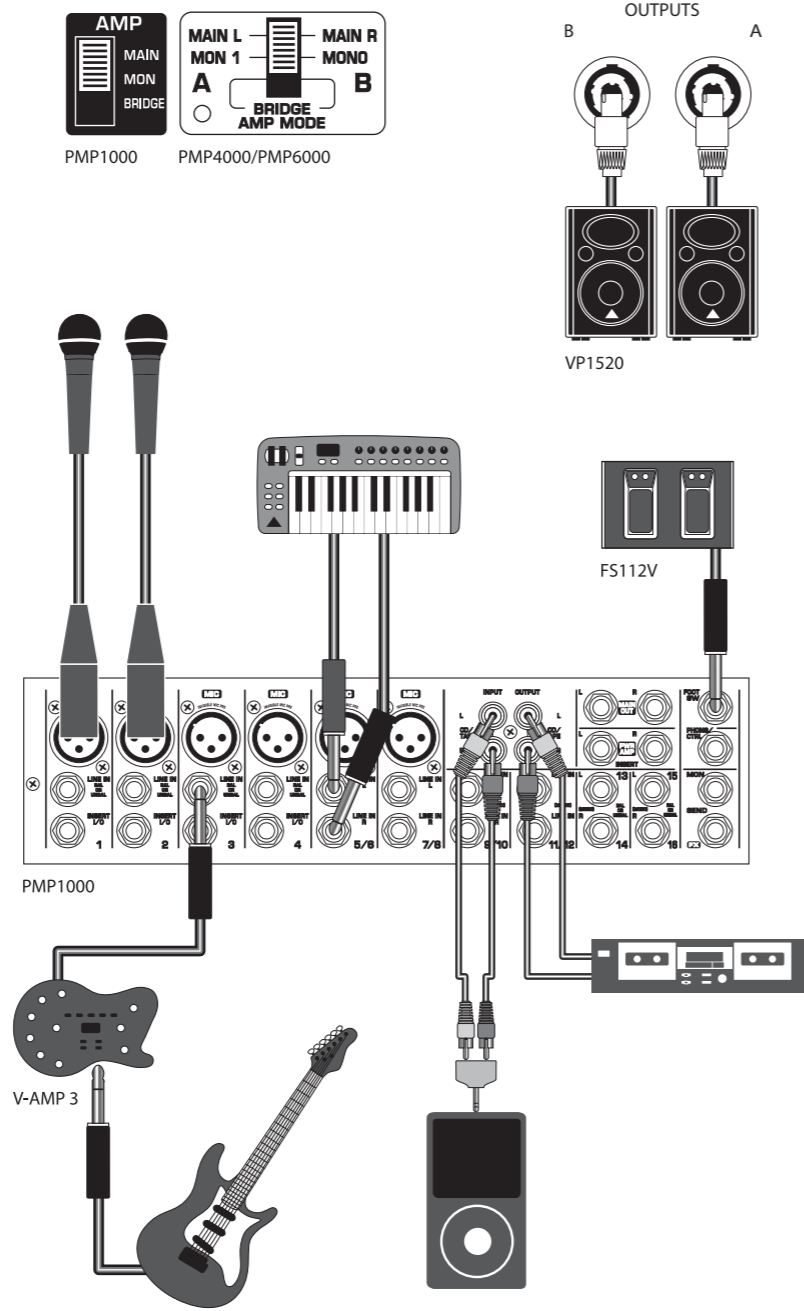
適用される保証条件と Music Tribe の限定保証に関する概要については、オンライン上 musictribe.com/warranty にて詳細をご確認ください。

EUROPOWER PMP6000/PMP4000/PMP1000 フックアップ

ステップ 1: フックアップ

ステレオ・オペレーション

パッシブのメインとモニター

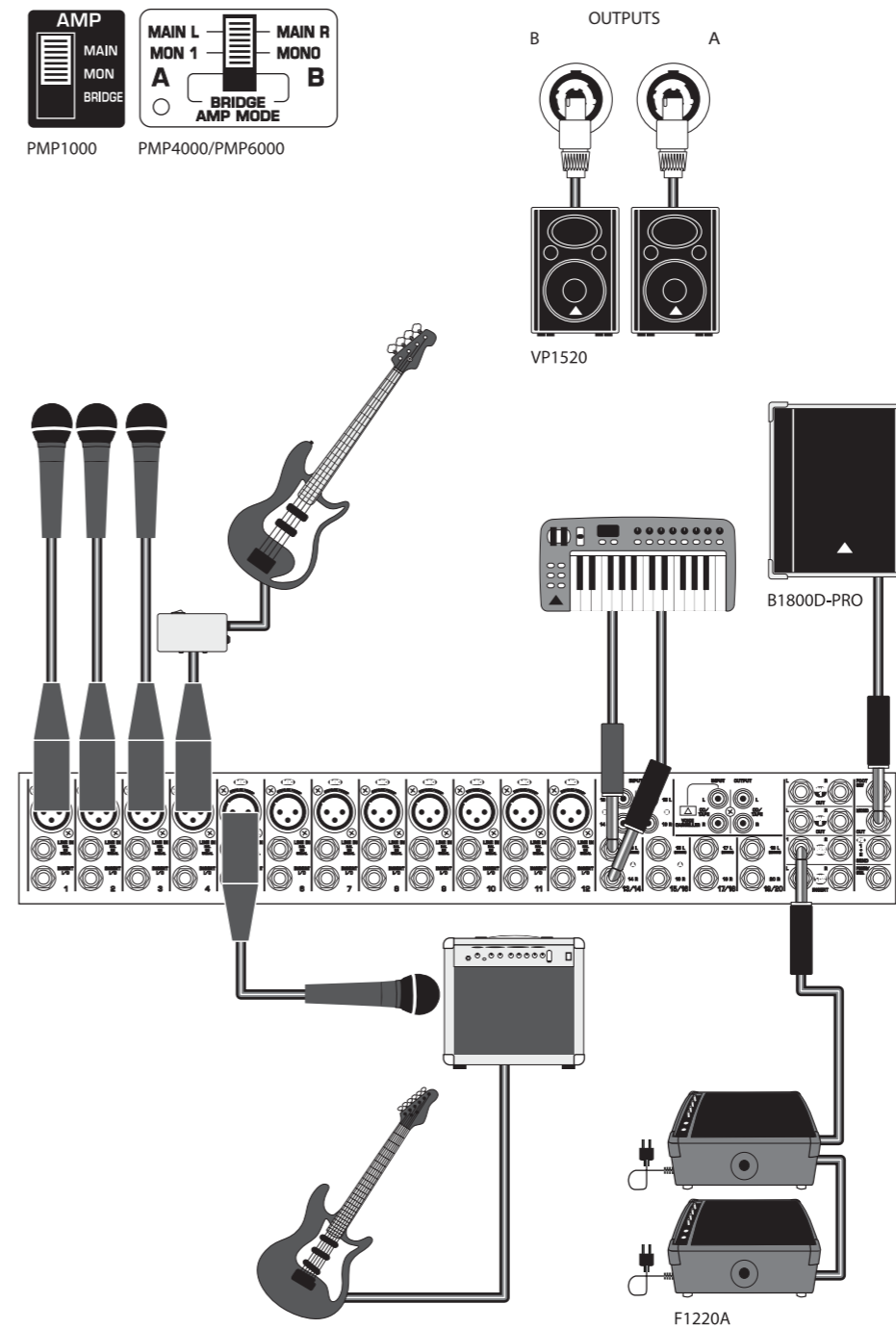
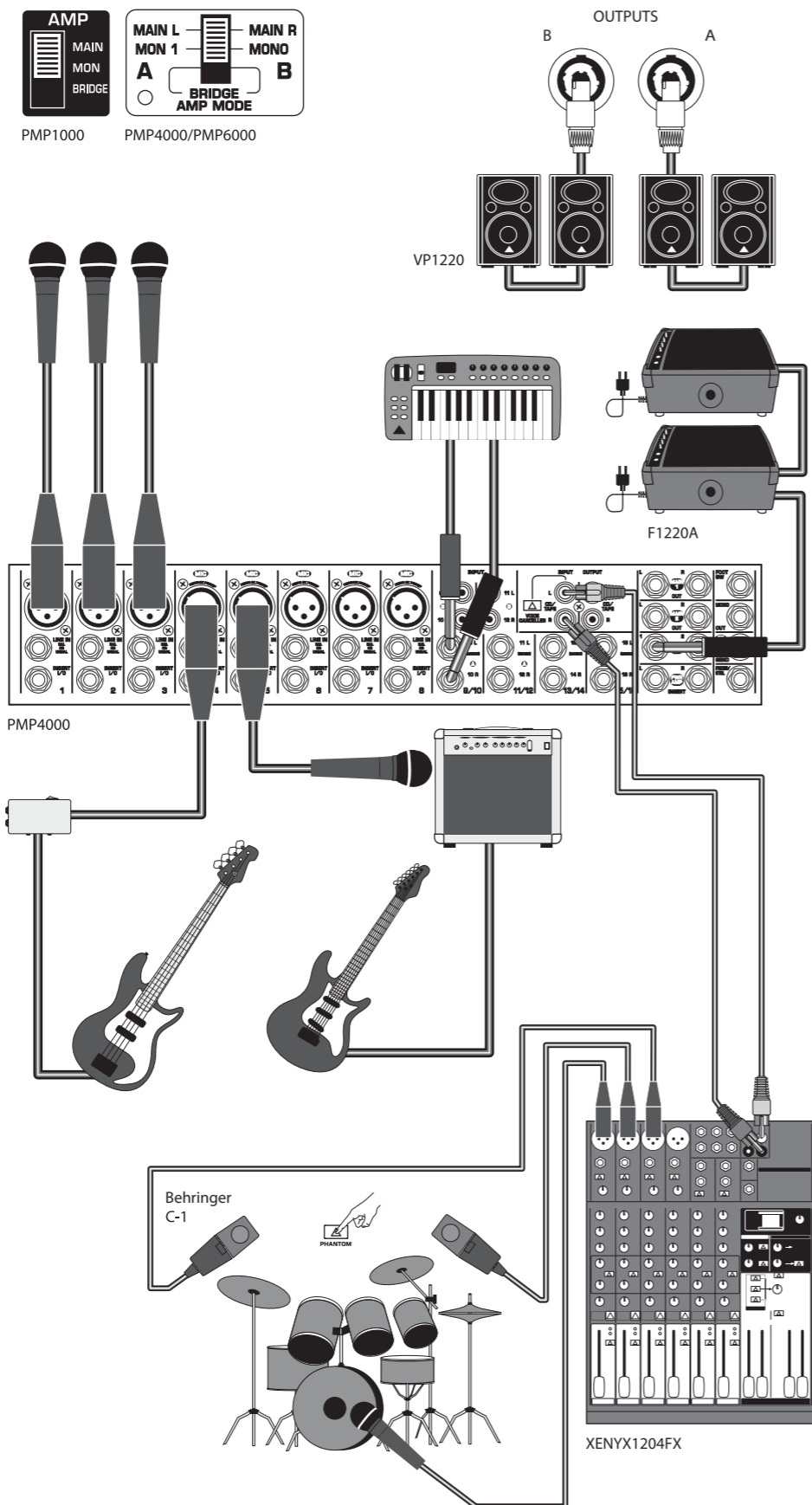


EUROPOWER PMP6000/PMP4000/PMP1000 フックアップ

ステップ 1: フックアップ

パッシブのメインとアクティブのモニター、サブミキサー

メインとサブウーファー



EUROPOWER PMP6000/PMP4000/PMP1000 コントロール

JP

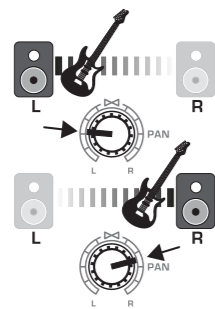
ステップ 2: コントロール

GAIN ノブは MIC と LINE 入力の感度を調節します。

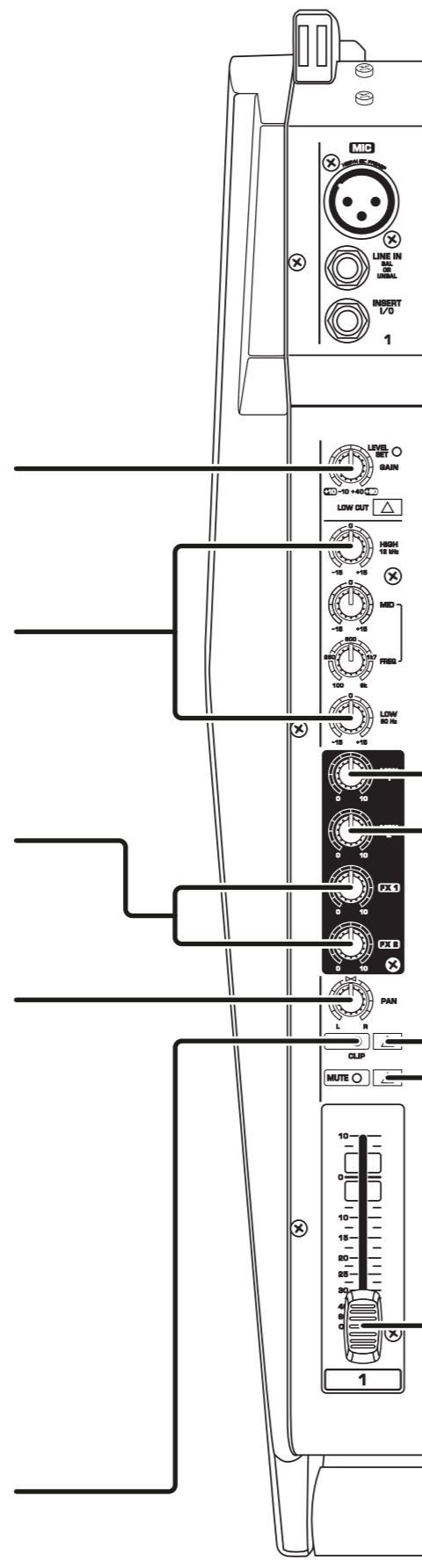
EQ ノブはチャンネルのハイ、ミッドとローの周波数を調節します。PMP6000 の **FREQ** ノブで MID ノブで調節する周波数帯を選択します。

FX 1&2 ノブは対応するマルチ-FX プロセッサに送られるチャンネルの信号の量を調節します。

PAN ノブはステレオ・フィールド内でのチャンネルの位置を決めます。



CLIP LED はチャンネルの信号がオーバーロードすると点灯します。この LED は PFL ボタンが押されているときにも点灯します。

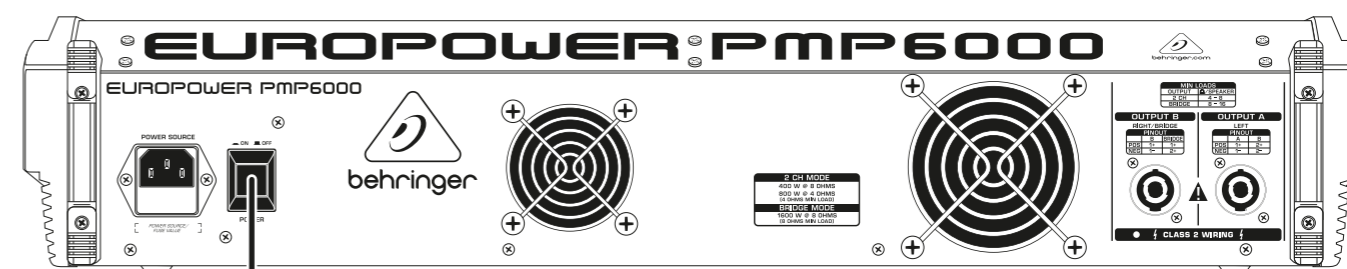
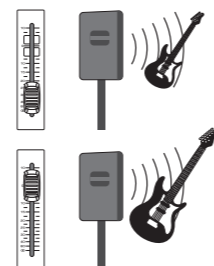


MON ノブはパッシブ・モニターを使っているとき、MON SEND 端子と OUTPUT A に送られるチャンネルの信号の量を調節します。

PFL ボタン (PMP4000/6000 のみ) はゲイン設定のために、チャンネルを VU METER に送ります。

MUTE ボタンはチャンネルをミュートします。

LEVEL フェーダーはチャンネルのボリュームを調節します。



ON/OFF ボタンはミキサーの電源をオンオフします。

EUROPOWER PMP6000/PMP4000/PMP1000 コントロール

JP

ステップ 2: コントロール

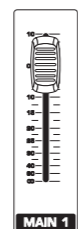
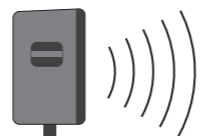
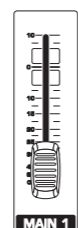
PHANTOM スイッチはコンデンサーマイクフォンの使用時に 48V を XLR 入力に送ります。

GRAPHICEQ はサウンドのスペクトラムの特定の周波数帯を調節します。

MULTI-FX PROCESSOR は選択されたサウンド・エフェクトを FX ノブが上になっているすべてのチャンネルに送ります。詳細は「始めに」のステップ 10 を参照してください。

SURROUND ノブはミックスのステレオ強調の量を調節します。このエフェクトを有効にするには、XPQ TO MAIN ボタンを押します。

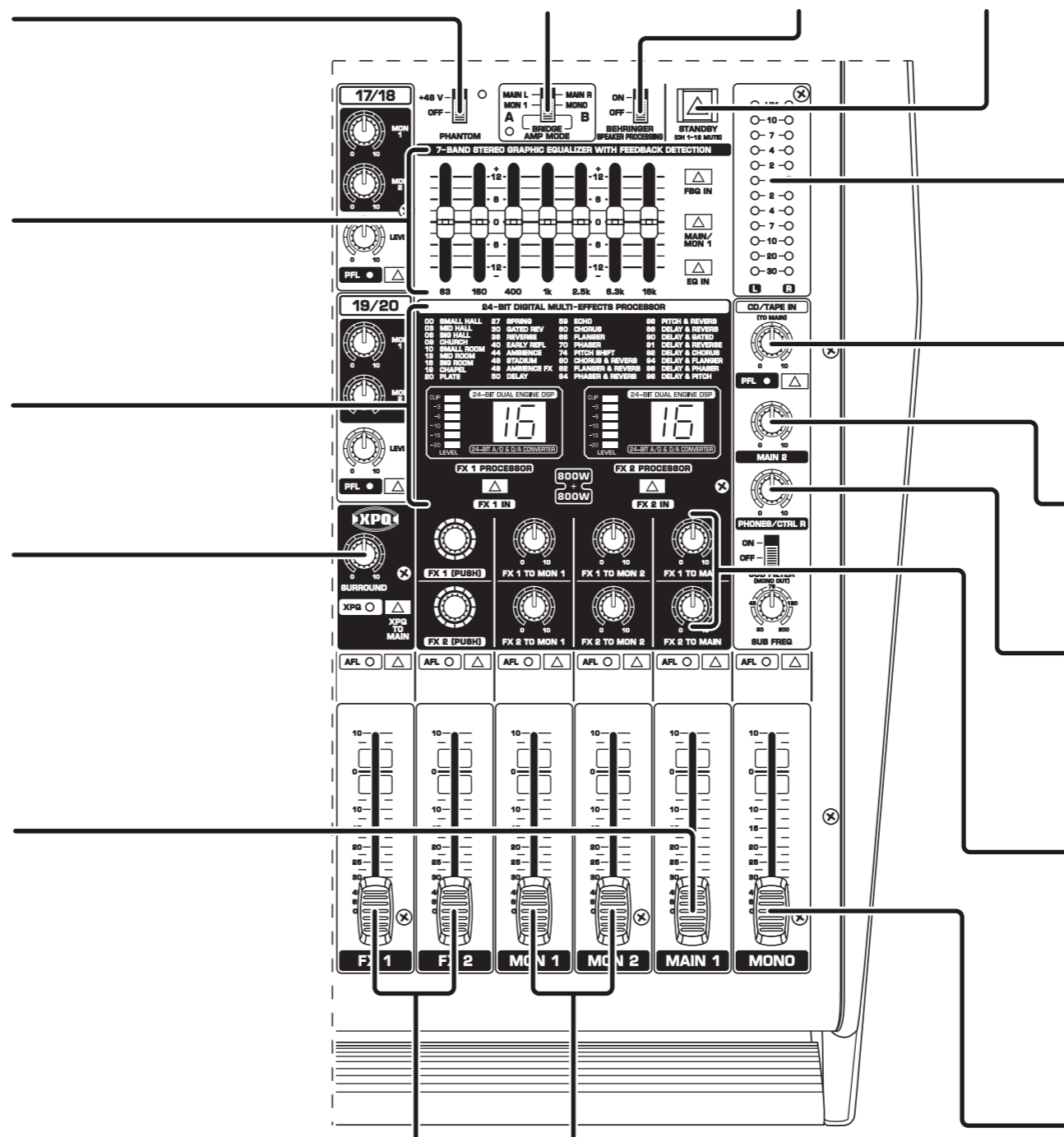
MAIN フェーダーはメイン信号の出力を調節します。



POWER AMP スイッチはパワーアンプの動作モードを選択します。詳細は接続例をご参照ください。

SPEAKER PROCESSING スイッチにより、ローエンドの周波数レスポンスが限られているスピーカーをミキサーが補正します。

STANDBY ボタンはすべてのマイク・チャンネルをミュートします。



VU METERS メインとモニターの出力信号レベルを表示します。

CD/TAPE はメインまたはモニターミックスの CD/TAPE IN 信号を調節します。

MAIN 2 ノブ (PMP4000/6000) は MAIN 2 端子の出力を調節します。

PHONES/CTRL ROOM ノブはヘッドフォンのボリュームを調節します。

FX TO MON と **FX TO MAIN** ノブは内蔵のマルチ-FX プロセッサからメインまたはモニター・ミックスに送られる信号の量を調節します。

MONO フェーダー (PMP4000/6000 のみ) は MONO OUT 端子の出力を調節します。PMP6000 の SUB FREQ はサブウーファーを使うためにクロスオーバー周波数を調節します。

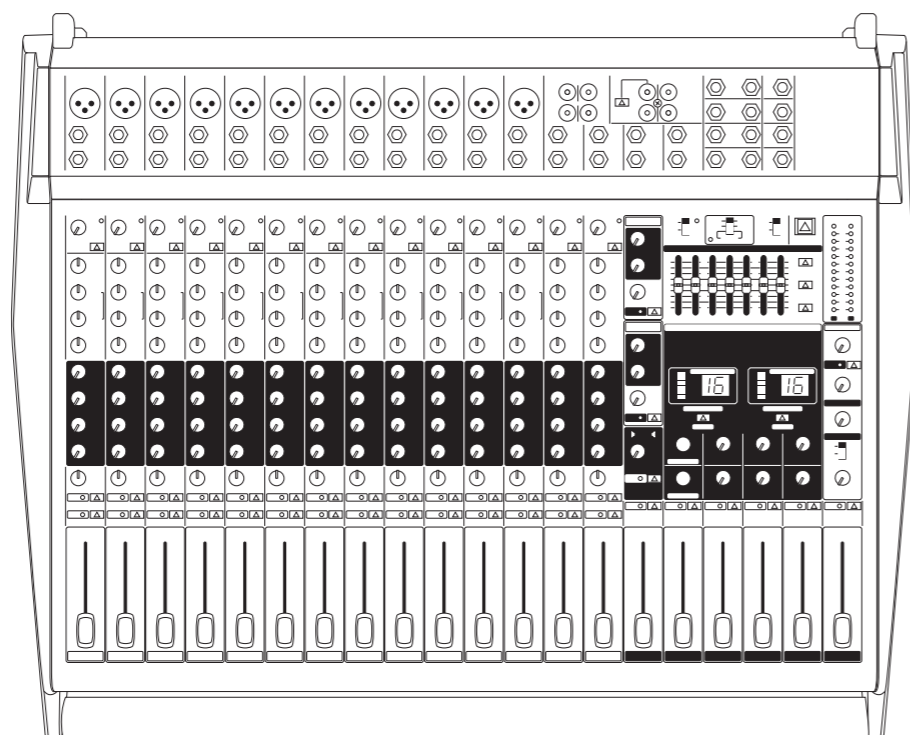
FX (SEND) フェーダーは内蔵の FX プロセッサと FX SEND 端子に送られる信号の量を調節します。

MON (SEND) フェーダーは MON 1/MONO モードを使っているとき、MON SEND 端子と OUTPUT A の出力を調節します。

EUROPOWER PMP6000/PMP4000/PMP1000 はじめに

JP

ステップ 3: はじめに



1 ミキサーにすべての電源、オーディオとスピーカーを適切に接続します。すべての機器の電源はオフにしておいてください!

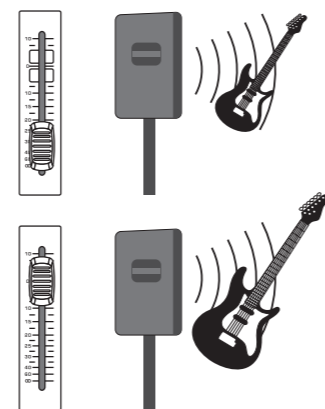
2 POWER AMP スイッチを使って適切な動作モードを選択します。

3 上に示されている通り (EQ と PAN はセンター、グラフィック EQ のスライダーはセンター、その他すべてはダウン / オフ) に設定します。

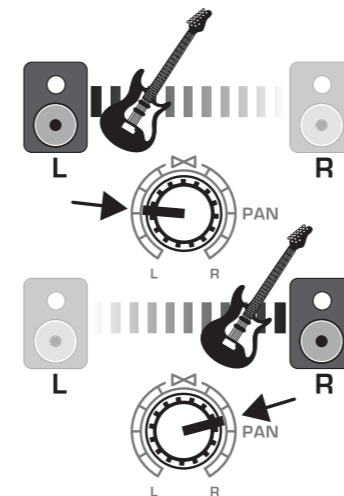
4 MAIN と MONITOR のフェーダーを完全に下げ、ミキサーの電源を入れます。

5 ゆっくりと MAIN フェーダーを真ん中まで上げます。

6 各チャンネルのレベルフェーダーを上げ、各マイクロフォンと楽器の相対的なレベルを調節します。



7 必要に応じて、チャンネルの PAN ノブを回し、チャンネルのステレオ・フィールド内での左右の位置を調節します。



8 チャンネルの MON ノブを使って、チャンネルの信号を (複数の) モニター・スピーカーに送ります。

9 MAIN フェーダーを使って、メインスピーカーへの全体的な出力を調節します。MON フェーダーを使って、モニター・スピーカーへの出力を調節します。VU METERS ライトの赤い LIM LED が点灯した場合は、MAIN フェーダーを下げます。

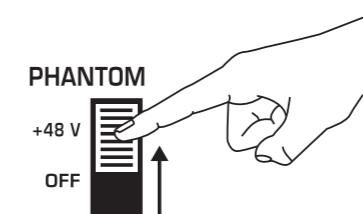
10 PMP シリーズ・ミキサーはエフェクト・プロセッサを内蔵しています。1 つ以上のチャンネルにエフェクトを加えるには、次のステップに従ってください:

- エフェクトを加えたいチャンネルの FX1 ノブを半分まで回します。
- FX1 IN ボタンを押し、プロセッサを有効にします。
- FX1 フェーダーを 0 まで上げます。
- FX TO MAIN ノブを半分まで上げます。モニター・ミックスにもエフェクト音を聴かせたい場合は、FX TO MON ノブを同じように半分まで上げます。
- PROGRAM ノブを回してエフェクトをスクロールします。エフェクトを選択するには、PROGRAM ノブを押します。
- チャンネルの FX1 ノブを調節し、適切な量のエフェクトが加えられていることを確認します。

- マルチ-FX ディスプレイの METER が赤の CLIP LED まで達しているときは、FX1 フェーダーを下げます。

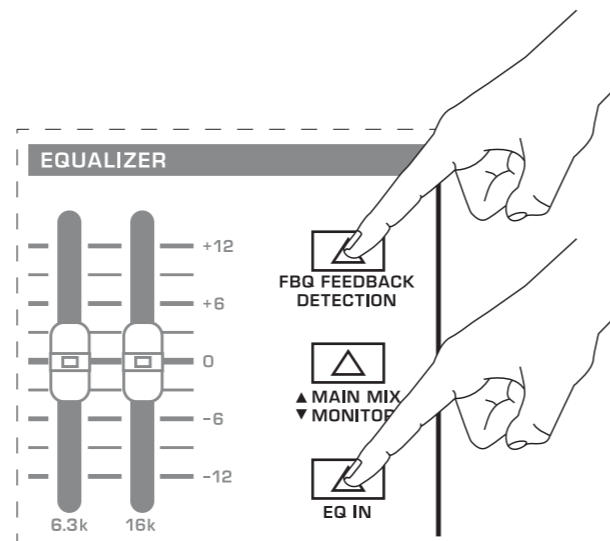
- PMP6000 では、FX2 ノブと FX2 フェーダーを使って同じ作業を繰り返し、各チャンネルに 2 つ目のエフェクトを加えます。

ファンタム電源 - コンデンサー・マイクロフォンを使うとき、スイッチを 48V の方に動かします。

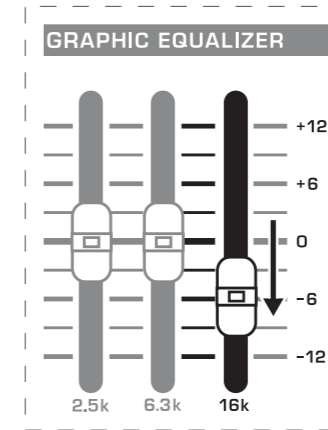


FBQ フィードバック検知

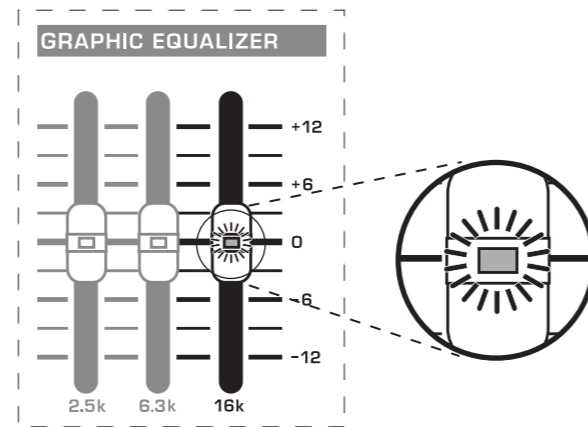
フィードバックが発生したら、EQ IN ボタンと FBQ FEEDBACK DETECTION ボタンを押します。MAIN MIX/MONITOR ボタンを押して、メインまたはモニタースピーカーにグラフィック EQ を割り当てます。



フィードバックが発生しなくなるまで、点灯している EQ スライダーを下げます。



フィードバック周波数に対応する EQ スライダーの LED が点灯します。



JP 技術仕様

	PMP6000	PMP4000	PMP1000
マイク入力			
タイプ	XLR、電子平衡入力回路		
マイク E.I.N. (20 Hz ~ 20 kHz)			
@ 0 オームソース抵抗	-134 dB / 136 dB A 加重		
@ 50 オームのソース抵抗	-131.5 dB / 134 dB A 加重		
@ 150 オームのソース抵抗	-129 dB / 155 dB A 加重		
周波数応答	< 10 Hz - 200 kHz (-1 dB) < 10 Hz - > 200 kHz (-3 dB)		
利得	+10 dB, +60 dB		
最大 入力レベル	+12 dBu @ +10 dB ゲイン		
インピーダンス	約 2.6 kOhm バランス / 1.3 kOhm アンバランス		
信号対雑音比	109 dB / 112 dB A 加重 (0 dBu In @ +10 dB ゲイン)		
ノイズ (THD + N)	0.002% / 0.0018% A 加重		
モノライン入力			
タイプ	¼" TS コネクタ、バランス		
インピーダンス	約 20 キロオーム		
最大 入力レベル	+21 dBu		
ステレオライン入力			
タイプ	¼" TRS コネクタ、 不平衡	¼" TRS コネクタ、 不平衡	—
インピーダンス	> 3.6 kOhm	> 3.6 kOhm	—
最大 入力レベル	+22 dBu	+22 dBu	—
イコライザ			
低	80 Hz / ±15 dB		
ミッド	100 Hz ~ 8 kHz /±15 dB	2.5 kHz / ±15 dB	2.5 kHz / ±15 dB
高い	12 kHz / ±15 dB		
2トラック入力			
タイプ	RCA		
インピーダンス	約 3.6 キロオーム		
プリアンプ出力			
メイン			
タイプ	¼" TRS コネクタ、不平衡		
インピーダンス	約 150 オーム、アンバランス		
最大 出力レベル	+21 dBu		
モニター			
タイプ	¼" TRS コネクタ、不平衡		
インピーダンス	約 150 オーム、アンバランス		
最大 出力レベル	+21 dBu		
ステレオ出力			
タイプ	¼" TRS コネクタ、 不平衡	¼" TRS コネクタ、 不平衡	—
インピーダンス	約150オーム、 アンバランス	約150オーム、 アンバランス	—
最大 入力レベル	+21 dBu	+21 dBu	—
タイプ	RCA		
インピーダンス	約 1 オーム		
最大 入力レベル	+21 dBu		

	PMP6000	PMP4000	PMP1000
スピーカー出力			
タイプ	プロフェッショナルロッキングコネクタ		
負荷インピーダンス:			
メイン L/R	4-8 オーム		
モニター/ メインモノ	4-8 オーム		
メインモノ/ メインモノ	4-8 オーム		
ブリッジ	8-16 オーム		
DSP			
コンバータ	24ビットデルタシグマ、 64/128倍のオーバーサンプリング		
ダイナミクス D/A	90 dB		
サンプリングレート	46.875 kHz		
遅延時間	最大 5 秒		
信号の実行時間 (ライン入力>ライ ン出力)	約 1.5 ミリ秒		
表示			
タイプ	2x2桁、 7セグメント LED	2桁 7セグメント LED	2桁 7セグメント LED
出力電力			
RMS @ 1% THD、両方のチャンネル駆動:			
チャンネルあたり 8 オーム	300 W	300 W	90 W
チャンネルあたり 4 オーム	600 W	600 W	130 W
RMS @ 1% THD、ブリッジモード:			
8 オーム	1200 W	1200 W	200 W
ピーク電力、両方のチャンネル駆動:			
チャンネルあたり 8 オーム	400 W	400 W	135 W
チャンネルあたり 4 オーム	800 W	800 W	250 W
ピーク電力、ブリッジモード:			
8 オーム	1,600 W	1,600 W	500 W
電源			
主電源電圧			
アメリカ/ カナダ	120V~, 60 Hz		
中国/韓国	220V~, 50/60 Hz		
ヨーロッパ/ オーストラリア	230V~, 50 Hz		
日本	100V~, 50 ~ 60 Hz		
ヒューズ 100-120V~	T 10 A H 250 V	T 10 A H 250 V	T 5 A H 250 V
ヒューズ 220-240V~	T 6.3 A H 250 V	T 6.3 A H 250 V	T 5 A H 250 V
消費電力			
消費電力	1,050 W	1,050 W	500 W
メインコネクタ	IEC 標準レセプタクル		
寸法/重量			
寸法 (H x W x D)	4.8 x 19.5 x 23.5" 122 x 496 x 596 mm	4.8 x 18.1 x 18.7" 122 x 460 x 476 mm	4.8 x 15.6 x 16.7" 122 x 390 x 425 mm
重量	28.9 ポンド / 13.1 kg	22.9 ポンド / 10.4 kg	18.3 ポンド / 8.3 kg

その他の重要な情報

JP その他の重要な情報

1. ヒューズの格納部 / 電圧の選択:

ユニットをパワーソケットに接続する前に、各モデルに対応した正しい主電源を使用していることを確認してください。ユニットによっては、230V と 120V の 2 つの違うポジションを切り替えて使う、ヒューズの格納部を備えているものがあります。正しくない値のヒューズは、絶対に適切な値のヒューズに交換されている必要があります。

2. 故障: Music Tribe ディーラーがお客様のお近くにはないときは、musictribe.com の "Support" 内に列記されている、お客様の国の Music Tribe ディストリビューターにコンタクトすることができます。お客様の国がリストにない場合は、同じ musictribe.com の "Support" 内にある "Online Support" でお客様の問題が処理できないか、チェックしてみてください。あるいは、商品を返送する前に、musictribe.com で、オンラインの保証請求を要請してください。

3. 電源接続: 電源ソケットに電源コードを接続する前に、本製品に適切な電圧を使用していることをご確認ください。不具合が発生したヒューズは必ず電圧および電流、種類が同じヒューズに交換する必要があります。

We Hear You